

「せぼねからの手足のしびれ・痛み・腰痛セミナー」

脳神経外科医が治すせぼねの病気！

手足のしびれ・痛み・腰痛、歩きにくさの原因と最新の治療について、
神経の病気のエキスパートがわかりやすく解説します。個別相談もあります！

日時：平成31年2月24日(日) 午後1時～午後4時

場所：鏡野町中央公民館 大集会室

講師：岡山済生会総合病院

脳神経外科 中島正明先生、他

主催：ニューロスパイラルセミナー・鏡野町

後援：苫田郡医師会・鏡野町健康づくり推進協議会

参加費
無料

事前申込
不要

その他、下記コーナーも実施します！

◎かがみの健康チャレンジ90日
賞品抽選会

◎骨密度測定

◎健康づくり展示コーナー など

※詳しい内容については、広報かがみの
2月号の差込チラシをご覧ください。

お問い合わせ先 保健福祉課 保健指導推進センター(担当：庄司) 電話(0868)54-2025

ガラスにまつわるエトセトラ

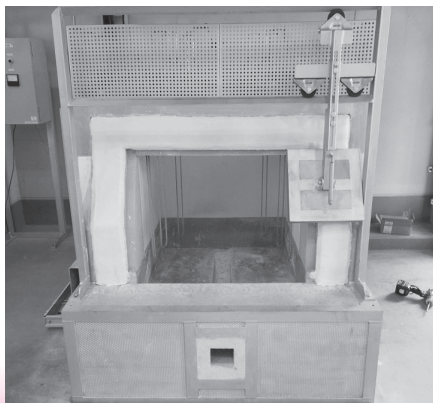
妖精の森ガラス美術館 三浦 和

あけましておめでとうございます。本年も妖精の森ガラス美術館をよろしくお願いいたします。

今回は設備管理のお話です。

ガラス工房では年に1度、熔解炉のメンテナンスを行います。今回は12月下旬にメンテナンスを行いました。メンテナンスの主な作業は熔解炉の中でガラスを溶かしている坩堝（るつぼ）の交換です。坩堝は使っていくと徐々に溶けているガラスが坩堝を浸食し、厚みが薄くなってきます。そのまま使い続けると穴が開いてしまい、ガラスが熔解炉の中に漏れてしまうため、穴が開く前に新しいものに交換する必要があります。

熔解炉運転中は坩堝の周辺を断熱材で埋めてしまうため、坩堝全体のかたちが見えるのはこのメンテナンスのときだけです。厚みも運転中は手で触れて確認できないので、どの程度薄くなっているか等の見極めは経験から予測し、交換時期を決めていきます。作品制作だけでなく制作のための設備管理も、ものづくりの難しくもやりがいのある一面ではないかと私は思っています。



坩堝を入れる前の熔解炉。
中心の空間に坩堝を入れる。



未使用の坩堝。熔解炉に入れる
ときは斜めに傾けて設置する。

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888